



オリエンタルコンサル
タツツとスカイマテイク

石礫自動判別クラウドシステム開発 AIで二次災害など解決

オリコンサルら

「スは、人力による調査が
主体の砂防事業における
石礫調査で懸
念される危険
箇所での二次
災害の恐れ、
調査精度のバ
ラツキ、作業
の長期化等の
課題を解決す
る「AI技術
を用いた石礫
および礫径の
自動判読シス
テム」を開発
した。

同システム
は、ドローン
等により空撮

した広範囲な溪流の高解
像度の連続写真をクラウ
ド上にアップロードする
だけで、自動的にオルソ
画像・DSM(高低差)
画像・三次元点群データ
等の地形データを生成、
独自開発のアルゴリズム
を用いてAIが自動で石
礫を抽出、礫径を判定し、
礫径分布・粒径分布グラ

フ、石礫抽出結果レポー
トなど出力する。計測ツ
ールを使い、断面図・面
積・距離などの計測がで
き、砂防施設計画設計を
はじめ、災害時の溪流の
変化状況や溪流の経年変
化の把握等に活用するこ
とが可能だ。

今後、共同で事業化し、
砂防・防災事業に携わる
自治体・民間企業が広く
利用できるようクラウド
サービスとして今年度内
を目標に販売開始に向け
て取り組み、業界の業務
効率化、安全性の向上、
データの蓄積に貢献する
ことを目指す。